ケアが希望になる政治へ

日本共産党 衆議院東京12区　田原 聖子通信

No.016　2026年3月号

発行・日本共産党衆議院東京12区
田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

総選挙でのご支援、ありがとうございました。引き続きがんばります

今こそ、街頭での対話に





衆議院選挙ロングラン宣伝・ストリート対話での一コマ

「高市旋風が吹いた」といわれた２月の総選挙。でも、選挙中に街頭で対話した有権者の反応からは、選挙結果とはまったく違う印象を受けました。特に、若い人たちが真剣な面持ちで日本共産党の政策について尋ねてくる場面が幾度もあり、その内容も憲法や人権擁護などの具体的な課題が多く、未来に希望を感じました。

全員が投票権を持っているという高校生３人組は、「学費が高すぎる」、「最賃でアルバイトをしているからもっと時給を上げてほしい」と切実な訴え。ジェンダー問題に関心があるという20代の労働者は、「通称使用の法制化は絶対におかしい。同性婚も選択的夫婦別姓も、すぐにやってほしい」と話し、シールボードの「アメリカにものが言える外交」の欄にシールを貼った30代の女性は、「トランプ政権はひどすぎる。こんなアメリカに言われて防衛費アップなんて、とんでもない」と、怒りをこめて語ってくれました。

高市政権は、衆議院で３分の２以上の議席を得て、憲法改悪への動きを加速しようとしています。しかし、選挙戦で多くの方々からいただいた声は、平和、暮らし、人権を大切にする政治を前に進めてほしいという願いです。

選挙が終わった今こそ元気に街頭に飛び出し、国民の皆さんと対話を重ねながら、若い世代や働く人々が幸せになる社会をめざして奮闘していきます。

心のモヤモヤ
シェアしませんか？

親子カフェ

●とき: 3月29日(日)
13:30～17:00
※お菓子づくりは14:00スタート
●ところ: Tokyo12Haus

ご相談はお気軽に

- **生活**　携帯代が払えない。家賃が高い。食費を削っている。
- **家族**　家族やパートナーとの関係がつらい。子育てがつらい。
- **仕事**　親の介護で働き続けられない。病気になった。

TOKYO 12 HAUS

日本共産党・田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
電話 5939-6581 FAX 5939-6582
mail: kitachikutou@gmail.com

やるねー♪ 結ちゃん

ダウン症の子とともに、
尊厳が尊重される社会をめざして

総選挙が終わって帰宅すると「おかえり。（お母さんがいない12日間）がんばってたよ」と結ちゃん。12日間不在にした罪の意識から「お母さんのお休みが来たら、ハトバスに乗ってお出かけしよう」と言った翌日、結ちゃんは喜びすぎて、右足の指を骨折してしまいました。

医師からは全治一か月半と言われ、結ちゃんは、これ幸いと、ずーっと春休みにしたかった様子ですが、担任の先生に「毎日送迎しますから通学させてください」とお願いし、社会福祉協議会から新型の車いすを借りて学校へ。授業が終わる頃、先生から電話があり「楽しく過ごしました。帰宅後は自分でトイレに行き、知恵と工夫でOKです」と。母親が心配そうに様子を見に行くと「やるねー！　できたね」と笑顔。罪の意識も少し和らいでいるのでした。



投開票日の翌日。早めのバレンタインチョコ